

# 図-5 原子炉容器供用期間中検査

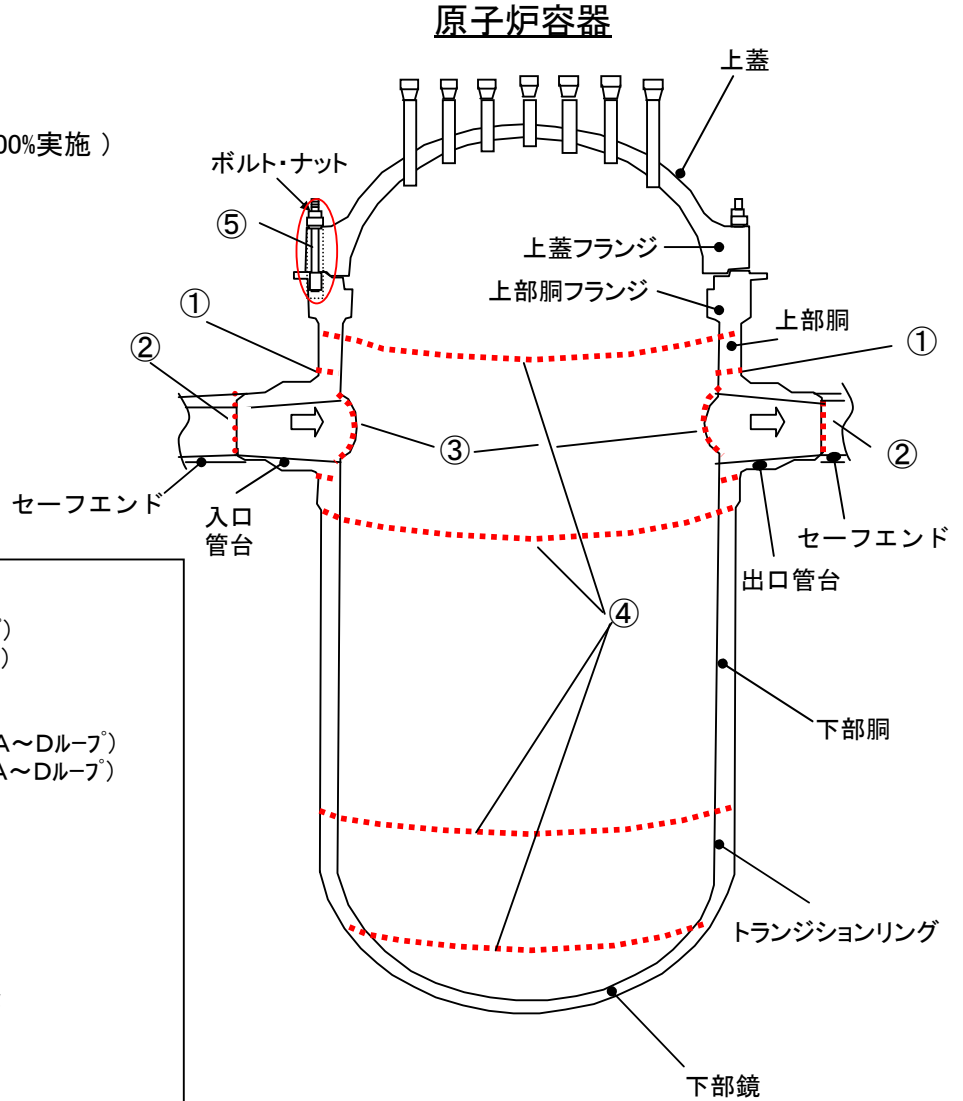
## 検査概要

原子炉容器の供用期間中検査として、原子炉容器溶接部等の超音波探傷検査を行い、健全性を確認する。

## 超音波探傷検査の箇所

..... : 検査箇所 (10年間で100%実施)

- ① 入口管台と胴との溶接部 (A~Dループ)  
出口管台と胴との溶接部 (A~Dループ)  
全8箇所の溶接部全周を検査
- ② 入口管台とセーフエンドとの溶接部 (A~Dループ)  
出口管台とセーフエンドとの溶接部 (A~Dループ)  
全8箇所の溶接部全周を検査
- ③ 入口管台内面丸み部 (A~Dループ)  
出口管台内面丸み部 (A~Dループ)  
全8箇所の丸み部を検査
- ④ 胴の溶接部  
全4箇所の溶接部全周 (全長) を検査
- ⑤ スタッドボルト  
54本中7本を検査



## 検査装置の概要

